

高等部（知的障害教育部門）



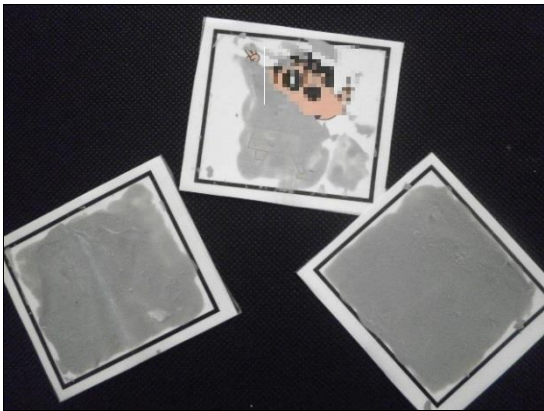
写真カード

ねらい

- ・教材を見ることで落ち着くことができる。

使い方

- ・余暇の時間を落ち着いて過ごせるようにする。



スクラッチ

ねらい

- ・消しゴムで文字を消す際の前後の動きを身につける。

使い方

- ・コイン（硬貨など）で銀色の部分をはがすようにこする。



顔&全身パズル

ねらい

- ・パーツを見て顔や全身の部位を確認する。
- ・名称を覚える。

使い方

- ・自分で1ピースずつ枠に入れる。
- ・教員に「目」「口」等言ってもらい、それを取り、枠に入れる。
- ・「これは何？」と質問をする。



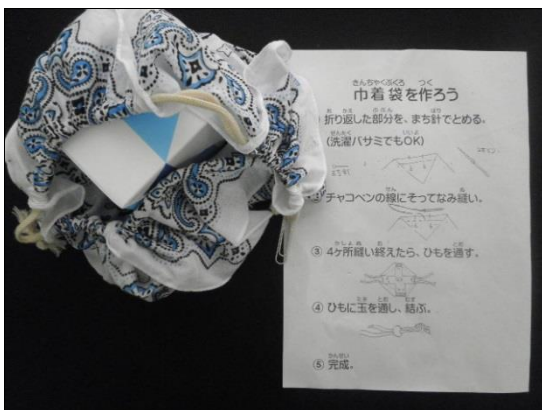
実習 いつどこで何をする？

ねらい

- ・スケジュールを学校でも家庭でも見ながらやりとりができ、見通しをもつことができる。

使い方

- ・どこにいつからいつまで行って何をするか、何をがんばるかを言葉や指さし、クイズ形式にするなどして楽しみながら学ぶ。



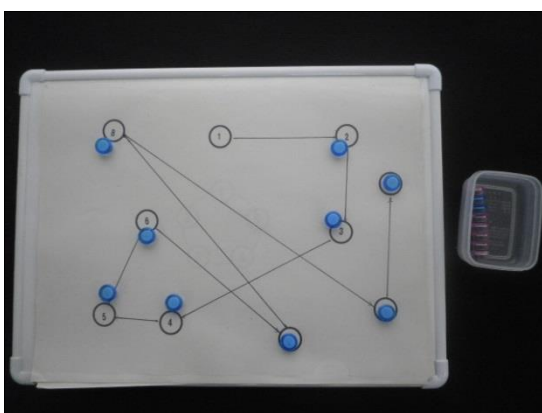
巾着袋

ねらい

- ・裁縫の練習

使い方

- ・お弁当箱などを包む。



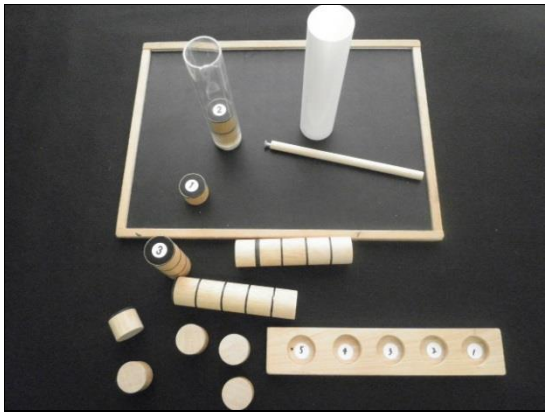
ここいくつ？

ねらい

- ・数を追うことで注視することができる。
- ・頭中でイメージして操作することができる。
- ・位置や方向、順序の学習ができる。

使い方

- ・指で①～⑩まで矢印通りになぞる。
- ・①から順に磁石を置いていく。
- ・「3 はどこ？」「ここはいくつ？」等の質問をする。



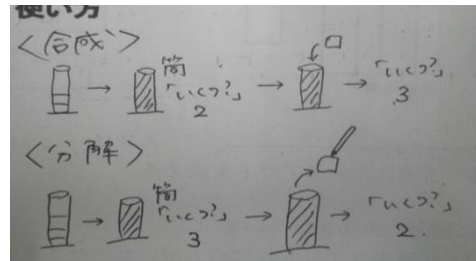
筒の中にはいくつある？

ねらい

・1～5の塊の円柱でいろいろな数の合成分解ができる。

使い方

- ・円柱や棒の先の磁石を埋め込み、操作が自分で簡単にできる。
- ・筒の中に数分の円柱を入れたり出したりして数の学習を行う。



個別のスケジュール

ねらい

・実態に合わせた情報量（写真、文字、サイズ）にし、見通しを持つことができる。

使い方

- ・チップを予定や行動に合わせて並べる。
- ・やりとりがしやすく、見通しが持てる。

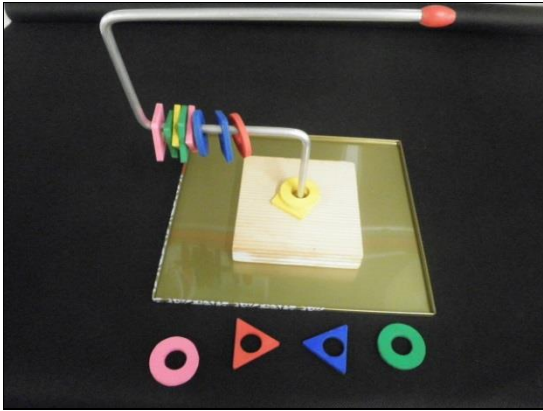
蝶結び練習

ねらい

・学習習熟度を考慮し、紐を色違いから同じ色、固い木から数を調整できる割り箸まで、発展した学習ができる。

使い方

- ・教員と一緒にひもを持ち、結び方の練習を行う。



リング通し

ねらい

- ・注視して、操作する力の向上。

使い方

- ・バリエーションは様々。色や形を言いながら渡したり、入れたり出したりする。
- ・軸の方を前後左右動かすことができる。



2、3、4辺パズル

ねらい

- ・生徒の大好きなバスカードを素材にし、パズルで構成や手指の巧緻性、集中力を高める。

使い方

- ・タイマーで見通しを持たせ、鳴ったら交代の切り替えも身につける。



同形、異型、文字マッチング

ねらい

- ・形（イラスト）や模様、文字の組み合わせを行う。

使い方

- ・初めはカードの種類分けから取り組み、興味のあるカードから文字へ移行していく。
- ・写真→イラスト→色なし→記号→文字



アウト、セーフカード

ねらい

- ・勝ち負けも同様、セーフやアウトを視覚的にわかるようにする。

使い方

- ・横須賀スタジアムでティーボール実施。
- ・また、自閉症の子が苦手な感情表現も同時に模倣から学習していく。



1対1対応の洗濯バサミ

ねらい

- ・力を入れて物をつまむ。また、手首を動かして協応させる。

使い方

- ・紙に書いてある線に合わせて挟む。
- ・発展して、印に合わせてなどしたい。



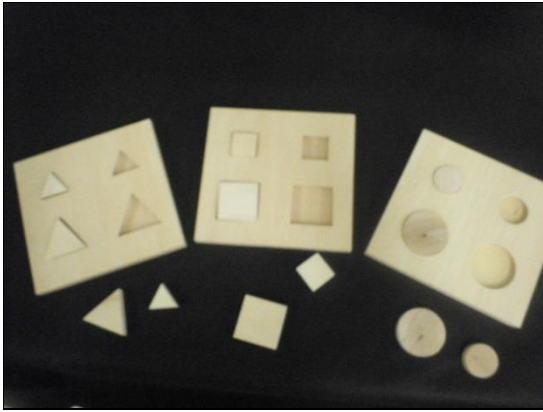
基本図形の構成パズル

ねらい

- ・同じ形でも実態に合わせて2分割、3分割…したパーツで取り組むことができる。

使い方

- ・型はめ。形をイメージしながら、はめていく。



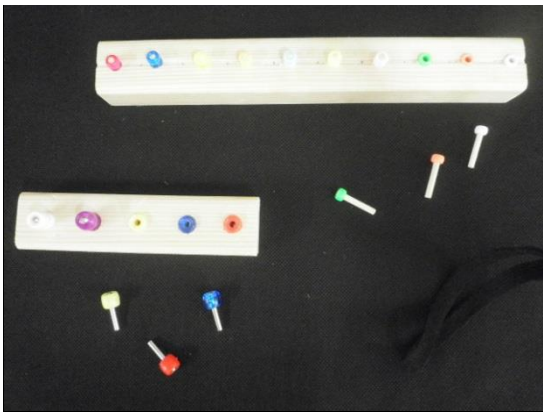
基本図形のはめ板

ねらい

- ・カテゴリ別のパーツを型にはめることにより、形のコセが分かる。

使い方

- ・カチカチ探りながらから、“見て”はめられる。
- ・正解がカッと触覚で判断できる。



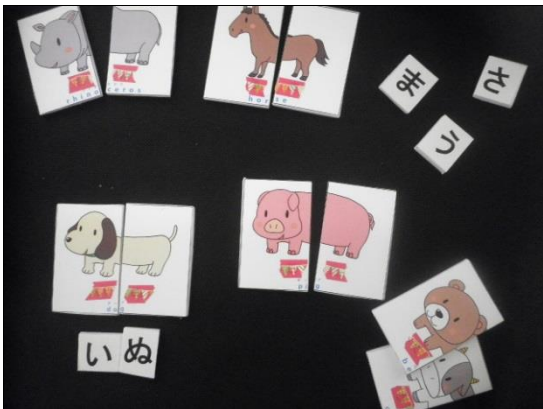
色ビーズのマッチング棒さし（大・小）

ねらい

- ・手指の巧緻性、集中力を高める。

使い方

- ・一つひとつ手渡して色を確認しながら、“順番に”入れていく。



絵・文字マッチング

ねらい

- ・絵と名前の一致。名前と文字と読み的一致、確認。

使い方

- ・絵のマッチングを行った後で、名前の確認を生徒と声を出して行う。
- ・文字カード中から絵に合う名前の文字を探し、絵の下に並べる。



色のマッピング プットイン教材

ねらい

- ・赤、青、黄の色の分別学習。
- ・指の力を使ってボールを容器に入れる学習。

使い方

- ・赤、青、黄の色をしたボールやブロックを一つずつ渡し、「どこに入れる？」と聞いて入れていく。